

2024.04.18

## 空から残す、愛車とのドライブの思い出

ドローン・メモリアル・フィルム@淡路島

記事

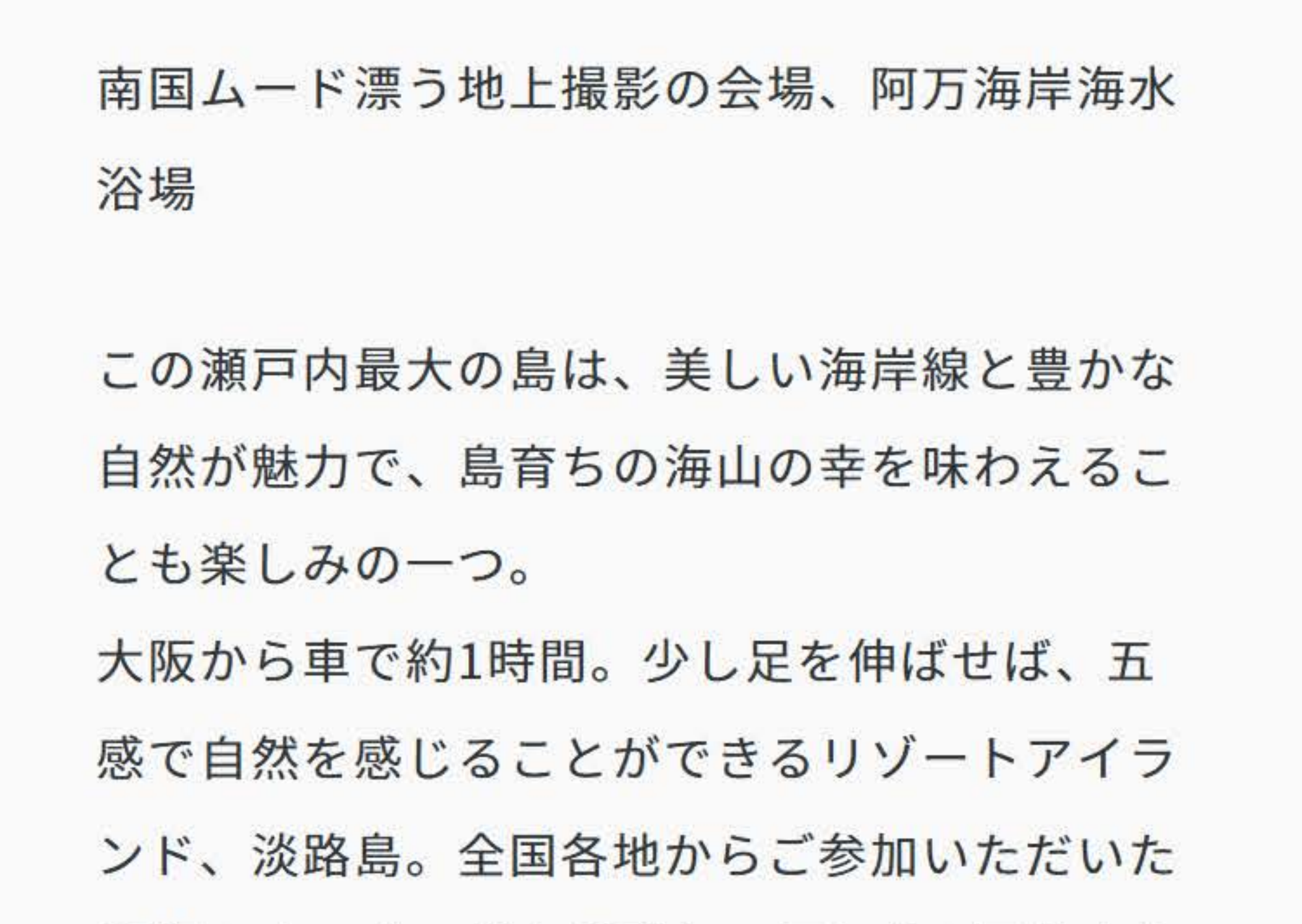
イベントレポート

ヤナセオーナーにふさわしい、これまでにない愛車撮影会を。

その想いを実現すべく、2023年に初開催されたYANASE X FIELD会員限定イベント、「ドローン・メモリアル・フィルム」。第2回目は、その舞台を東京湾から瀬戸内へ。その模様をレポートします。

## 第2回目の舞台は「国生みの島」、淡路。

日本国最古の歴史書「古事記」の冒頭を飾る、国生みの神話。その天地創造の物語の舞台となったのが、ここ淡路島です。

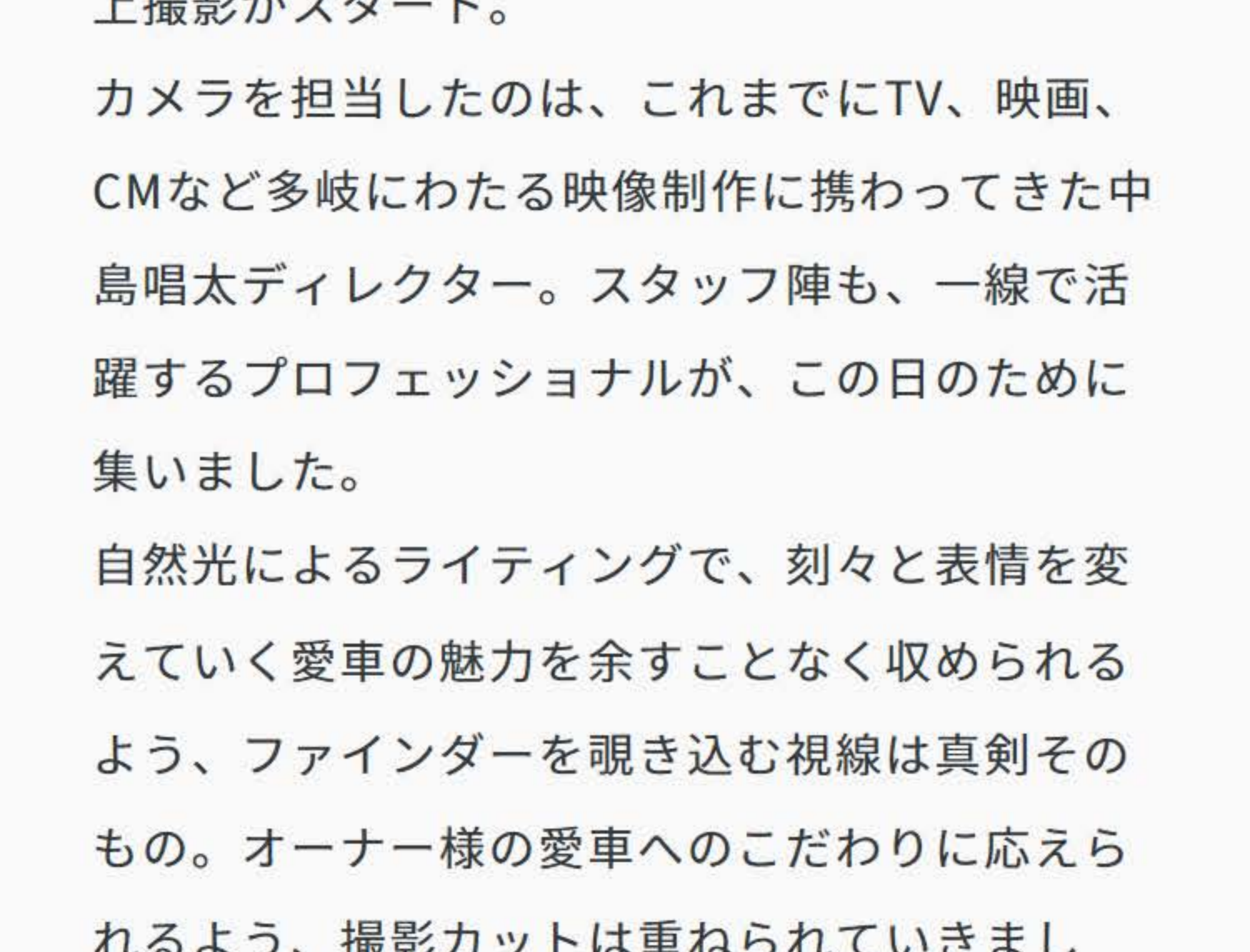


南国ムード漂う地上撮影の会場、阿万海岸海水浴場

この瀬戸内最大の島は、美しい海岸線と豊かな自然が魅力で、島育ちの海山の幸を味わえることも楽しみの一つ。

大阪から車で約1時間。少し足を伸ばせば、五感で自然を感じることができるリゾートアイランド、淡路島。全国各地からご参加いただいた10組のオーナー様と愛車を、正にその天地からフィルムに収めていく。ここにしかない特別な撮影会が始まりました。

## 映像のプロフェッショナルが集う、プレミアムな撮影会



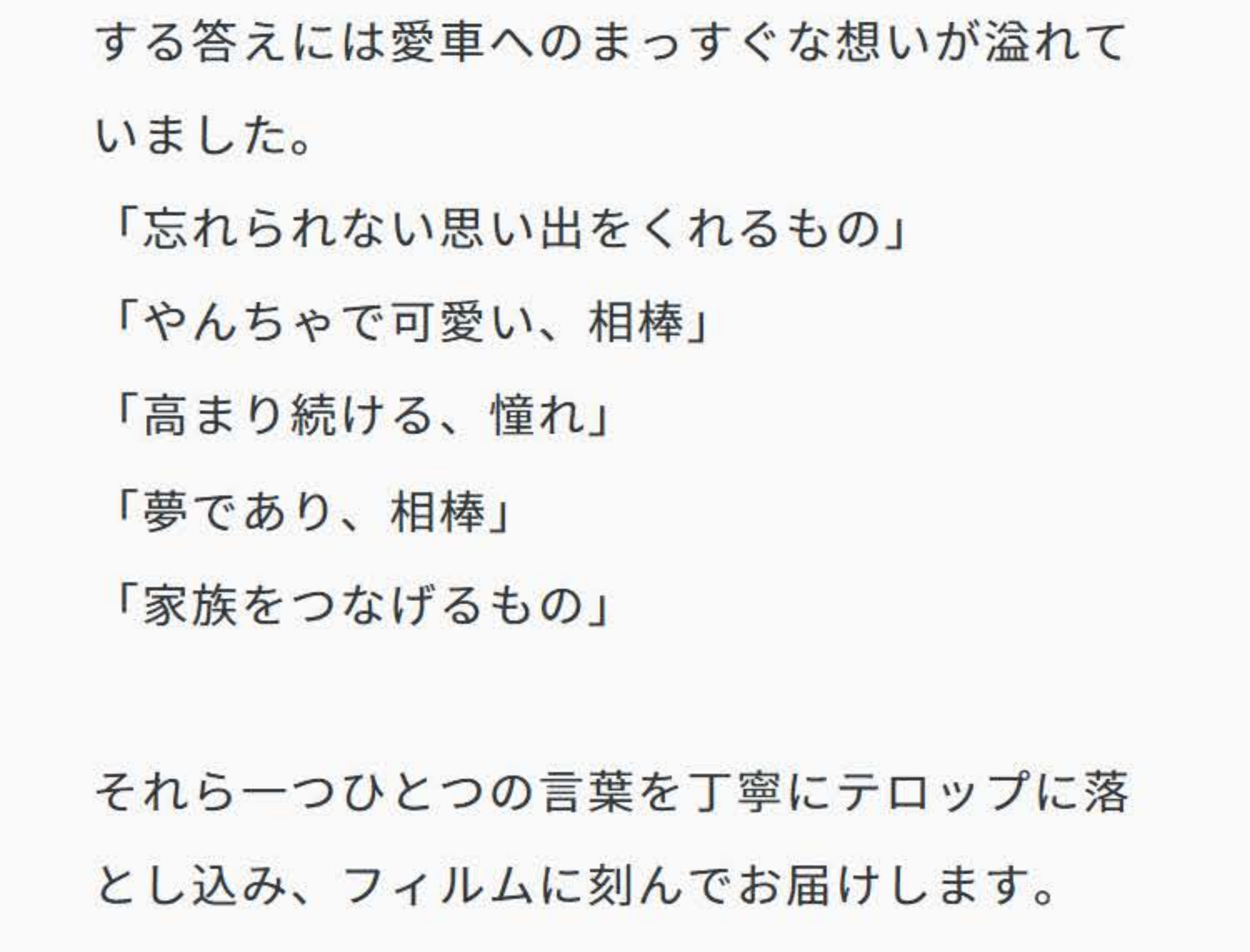
本格的な撮影機材

透き通るようなマリブルーの海を背景に、地上撮影がスタート。

カメラを担当したのは、これまでにTV、映画、CMなど多岐にわたる映像制作に携わってきた中島唱太ディレクター。スタッフ陣も、一線で活躍するプロフェッショナルが、この日のために集いました。

自然光によるライティングで、刻々と表情を変えていく愛車の魅力を余すことなく収められるよう、ファインダーを覗き込む視線は真剣そのもの。オーナー様の愛車へのこだわりに応えられるよう、撮影カットは重ねられていきました。

## 溢れ出す、愛車への想い



和やかに進行する地上撮影

撮影スタッフのリクエストに合わせて、愛車の前で演技を重ねていくオーナー様。さらに、オーナー様の愛車のお気に入りのパーツ・アングルにクローズアップ。終始和やかに撮影は進行していきます。

「あなたにとって愛車とは？」という質問に対する答えには愛車へのまっすぐな想いが溢れていました。

「忘れられない思い出をくれるもの」

「やんちゃで可愛い、相棒」

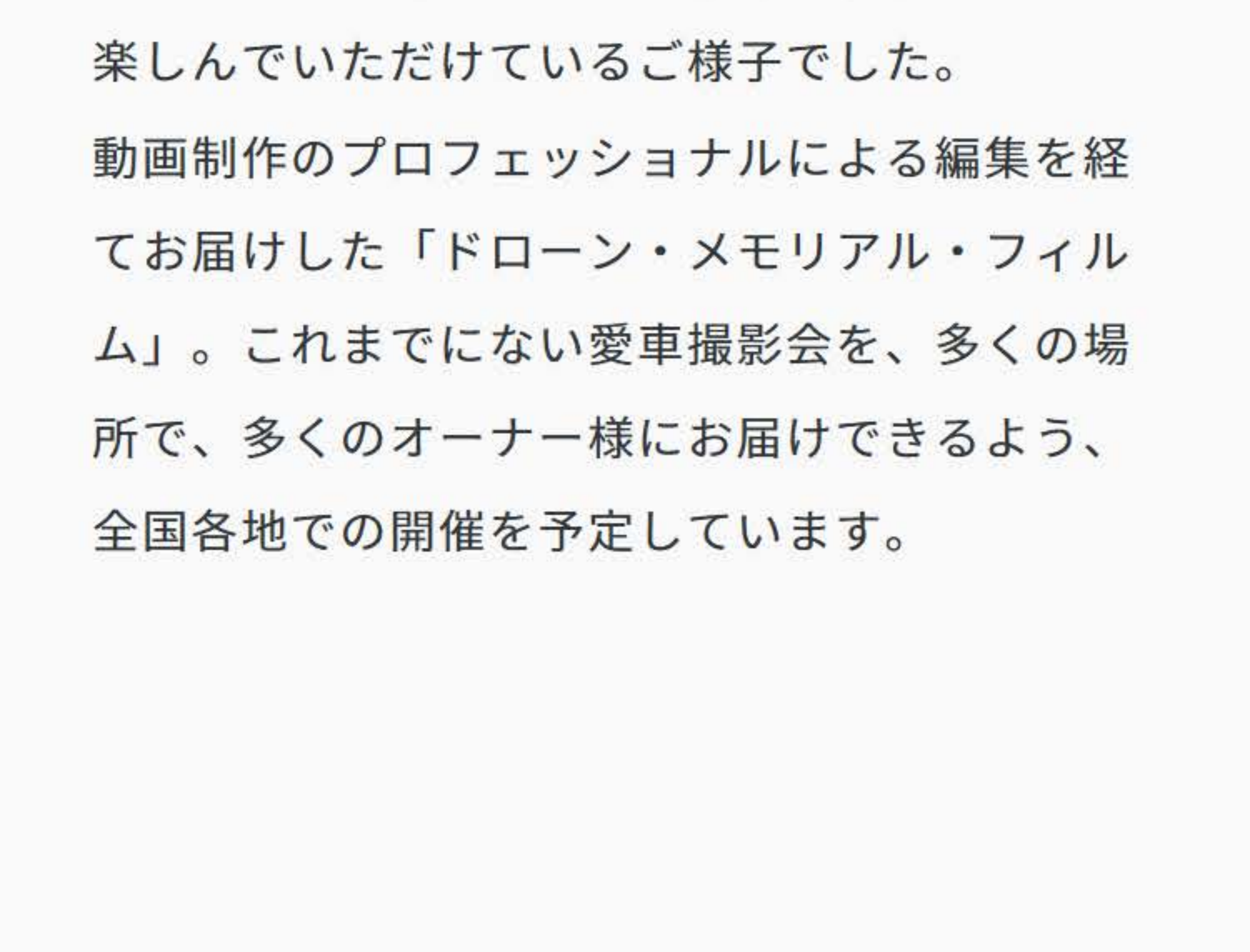
「高まり続ける、憧れ」

「夢であり、相棒」

「家族をつなげるもの」

それら一つひとつの言葉を丁寧にテロップに落とし込み、フィルムに刻んでお届けします。

## 地上から空へ、最高のアングルで残す思い出



イベントのクライマックス、ドローンによる撮影

淡路島南東の海外線を沿うように走る南淡路水仙ラインを舞台に、空からの撮影がスタートします。ドローンと駆け抜ける2.1キロの道のりでは、愛車の正面に寄った状態からのズームバック、そして真横からの併走を経て、愛車の後方からズームバック。切り立つ丘陵と広がる和歌山湾を背景に、愛車とオーナー様を360°、全方位からカメラに収めていきます。助手席から満面の笑みで手を振っていただいた方、正面に目線を据えたまま運転席からハンドサインを送っていただいた方など、この特別な体験を心から楽しんでいただけている様子でした。

動画制作のプロフェッショナルによる編集を経てお届けした「ドローン・メモリアル・フィルム」。これまでにない愛車撮影会を、多くの場所で、多くのオーナー様にお届けできるよう、全国各地での開催を予定しています。

[利用規約](#)[プライバシーポリシー](#)[特定商取引法に基づく表記](#)[FAQ](#)